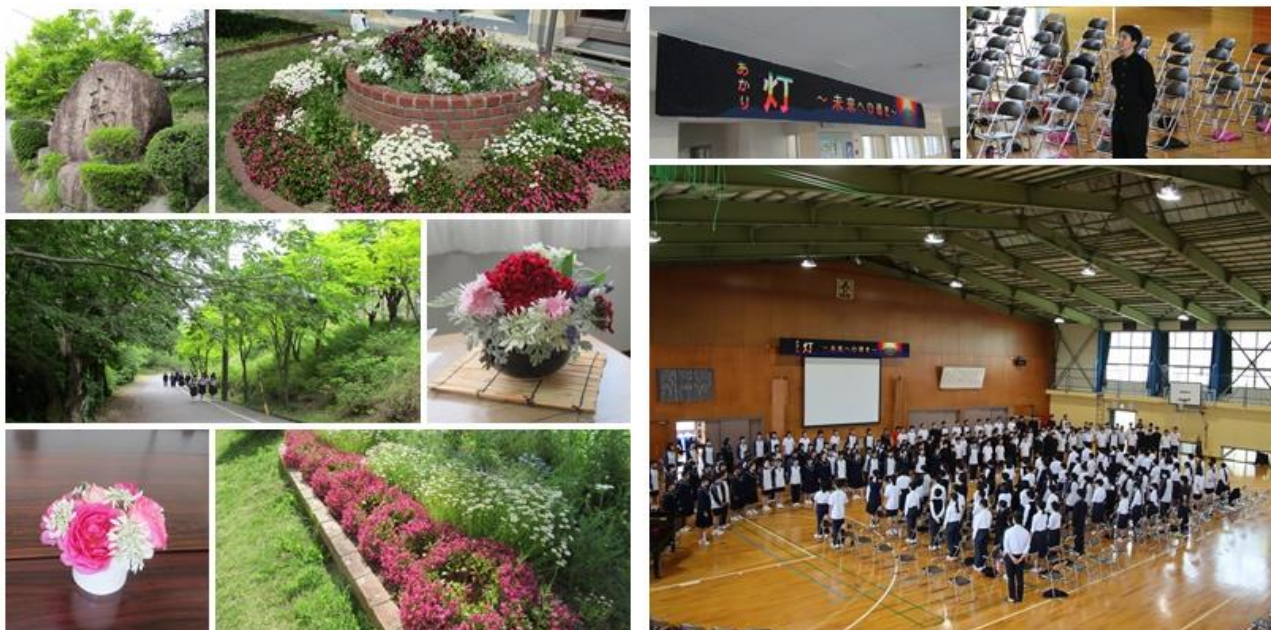


校訓

正しく 明るく 健やかに

令和5年5月12日発行

品中プライド



新緑のまぶしい季節となりました。校門付近は新緑で囲まれ、校庭には用務員さんのおかげできれいな花が毎日我々を迎えてくれます。朝は、「おはようございます」のあいさつが溢れ、品野坂は一層すがすがしい空気につつまれます。「目をあわせ、自ら笑顔で、誰にでも」、素敵なあいさつは、品中プライドのひとつです。

先日、いつも品野中学校をサポートしていただいている方とお会いする機会がありました。長く会社経営をされたその方に、教育の大切さをはじめ、たくさんのことを教えていただきました。会社として大切にされていることは、「金ともののけじめ」「時間のけじめ」「人間関係のけじめ」の3つのけじめ。また、「目を見てあいさつ、ありがとうの気持ちを込めて」。どれほどあいさつが大切であるかを話されました。長い間、会社の中で周知されているとのことでした。そして、教育の力は何年経っても大切であると話されていました。学校に置き換えても共通する部分が多くあります。「切り開くのが運命。運が良かったとか悪かったとかじゃない。運命は自分でつくるもの。変えられない宿命とは違う」と続けられ、これまで半世紀にわたってもっていらっしゃる信念とその言葉の重さを痛感しました。

“灯 ～未来への導き～”、これは、先日行われた「新入生を迎える会」で掲げられたスローガン。「僕たちが灯（あかり）になります。困ったときは頼ってください。一緒にたくさんの思い出をつくりましょう」。先輩が新入生にかけた素敵なメッセージ。これを聞いた1年生はもちろん、その場にいたすべての人がどれほどあたたかい気持ちになったことでしょう。先輩が後輩を想い、後輩は先輩の背中を見る。品中の良きプライドがここにも生きています。

令和5年度、素晴らしいスタートになった品野中学校。誰にとっても誇り高き品中であることを願います。